

# Forex Robotics、ロボットフォーラム2016内で「翻訳」、「金融」、「セキュリティ」などのロボットアプリを参考出展

Forex Robotics 株式会社

2016年7月1日

Forex Robotics 株式会社（フォレックスロボティクスカブシキガイシャ：以下 Forex Robotics、本社：千葉県船橋市 代表取締役：高橋一行）は、日本時間2016年7月1日に以下を発表しましたので、その内容をご案内します。

## 【お知らせ】

Forex Robotics はロボットフォーラム2016講演会内での展示デモンストレーションブースにおいて「未来のサービスロボットに必要な機能（スキル）は何か？」と題し4種類のPepper向けのアプリを参考出展いたします。

展示デモンストレーションブースは7月1日と8月2日の計2回出展予定です。

※1：ここで紹介するサービスロボット向けアプリはいずれもForex Roboticsが独自で開発したものです。

※2：当日のネットワーク接続の状況によっては動画による参考出展の可能性もございます。

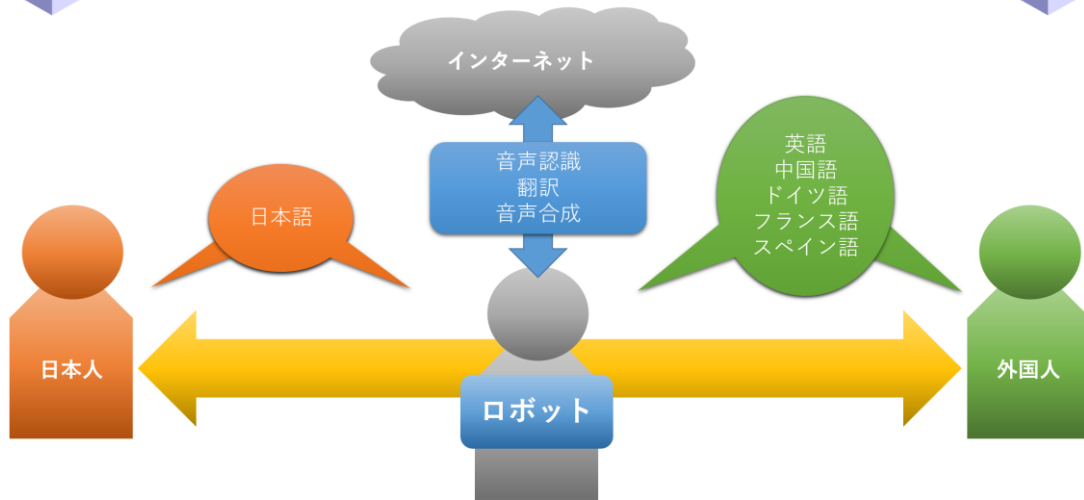
## 【外国人向けインバウンド対応翻訳アプリ】

日本政府は2020年の訪日外国人観光客数を4000万人に目標引き上げを行っています。しかし店舗や観光地での標識、案内などの外国語対応は進んでおらず対応できる人員も容易には増やせません。

今回のアプリは、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語の5か国語でPepperを介して翻訳しながら、対話支援をするアプリケーションを参考出展いたします。



## 外国人インバウンド対応翻訳アプリ



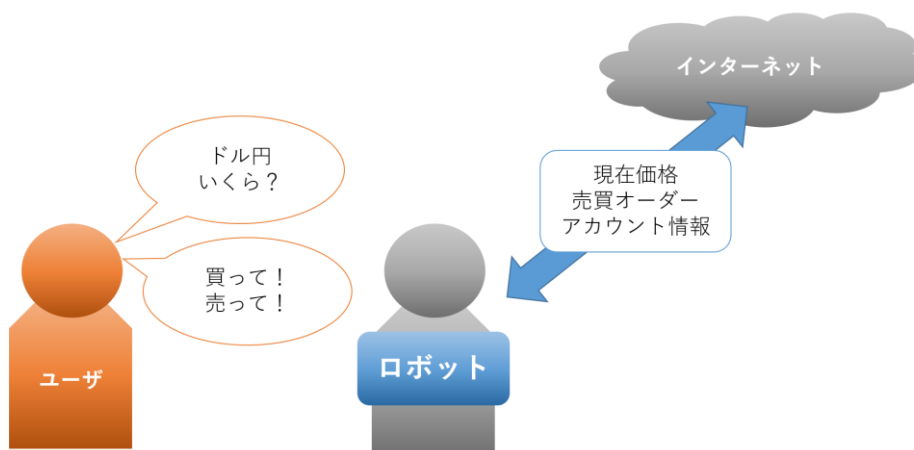
### 【Pepper 向け FX 取引アプリ】

未来のサービスロボットは AI 等を使い自分自身で投資を行っているかもしれません。今回のアプリは、OANDA fxTrade レート（※3）を使い、実際のリアル口座と同じ状況のデモ口座での FX 取引アプリを参考出展いたします。

※3：レートの表示等に OANDA Japan 様の Web API を利用していますが、本アプリの制作に OANDA Japan 様は関与しておりません。



## FX売買ロボ



### 【セキュリティ探索コンセプトアプリ】

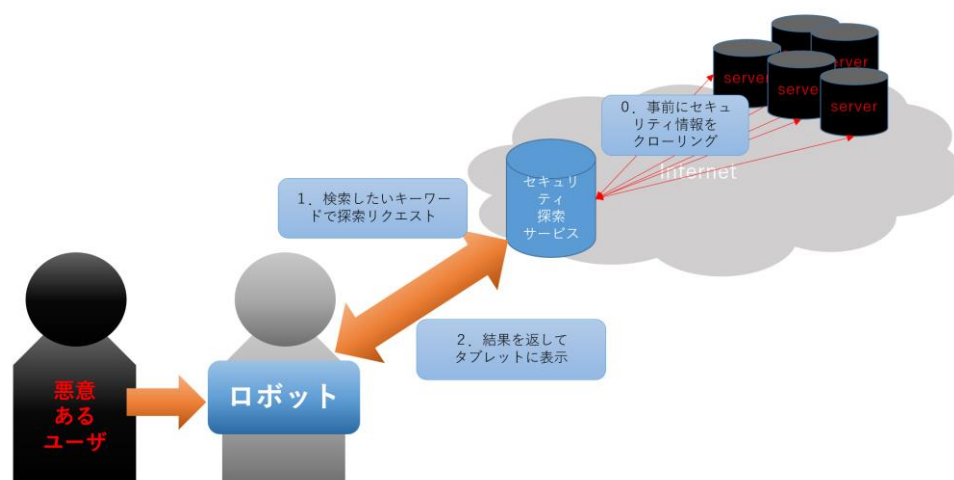
未来のサービスロボットには、パソコン、スマートフォンやデジタル家電と同様に、コンピュータウイルスや不正アプリのリスクが存在します。

今回のアプリは、Pepper上で動くセキュリティ脆弱性探索アプリというコンセプトでランプの精に扮したPepperが3つのセキュリティ脆弱性の検索を実行します。

コンピュータセキュリティ研究者でもある弊社代表が作成しているため、セキュリティリスクの危険性のないデモアプリになっていますが、探索結果は実際のデータを元に作成されています。



## セキュリティ探索ロボ

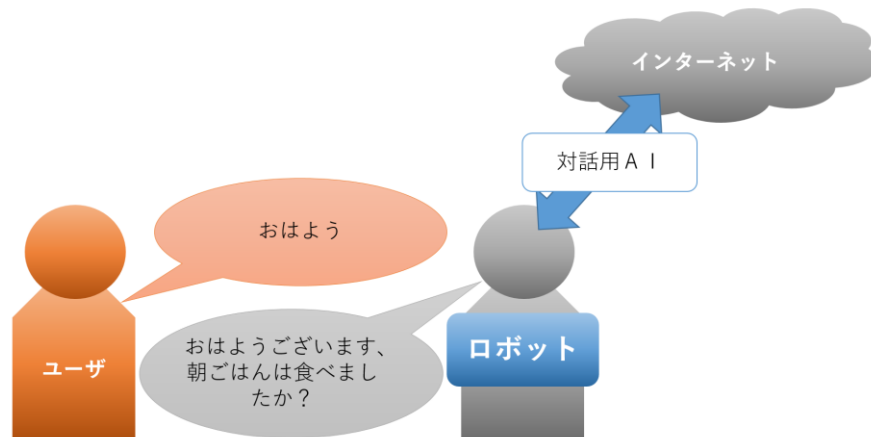


### 【雑談アプリ】

現在のPepperはフリーワードでの雑談は苦手ですが、クラウド音声認識とクラウドAIを組み合わせることによって自由な言葉での対話機能を実現しています。



## 雑談ロボ



### 【ロボットフォーラム2016とは】

少子高齢化社会の時代に突入し、労働人口の減少、効率の良い高品質サービス、高度な情報化社会の適応など、人と融和したロボットに対する期待が高まっています。2014年5月に安倍総理が「ロボットによる新たな産業革命を起こす」と表明し、2015年1月に「ロボット新戦略」が公表されました。そして、同年5月に「ロボット革命イニシアティブ協議会」が始動し、幅広い分野で数多くの関係者が集結しています。

今回ご案内いたします全4回の講演会では、サービスロボットの現状とその中核となる技術、高度情報化に対応したIoTの活用、ロボットの応用・活用事例を紹介いたします。講演に参加された皆様方の新たな事業展開、強化すべき要素技術の把握など、技術支援の一助となれば幸いです

### 【Forex Robotics 株式会社とは】

Forex Robotics は2015年に日本で設立されたソフトウェア会社です。

「先端技術をすべての人に」をミッションに、今後20年で成長する金融、ロボット、機械学習をベースとした製品・サービスの提供をしていきます。

### 【関連 URL】

[ロボットフォーラム2016](#)

[お問い合わせ URL](#)